

当科で現在実施している臨床研究についてのご紹介

東大医学部整形外科教室では、病気の原因の解明や治療法の開発・評価を目的とした臨床研究を行っています。当科で現在実施している研究についてご紹介いたします。ご理解ご協力のほどをお願いできれば幸いです。

研究名：

頚椎後縦靭帯骨化を合併した重度頚髄損傷に関する後ろ向き調査

目的：

頚椎後縦靭帯骨化症は、脊髄の通り道が狭くなる病気です。後縦靭帯骨化がある場合には、ごく軽いけがであっても、脊髄が損傷され、重度の麻痺をきたすことがあります。頚髄損傷をおこした頚椎後縦靭帯骨化症の方について、けがの詳しい様子や靭帯骨化の大きさ、治療の効果等をしらべます。

対象となる方：

平成12年1月から平成18年6月までの期間中に、頚髄損傷のため歩行不能となり、受傷後2日以内に当院に搬送された方。

方法：

診療のために以前撮像したレントゲン、CTをしらべ、頚椎後縦靭帯骨化の有無をしらべます。頚椎後縦靭帯骨化がみられる方については、けがの詳しい様子やけがの前の麻痺の程度をカルテから調査します。また以前治療のために撮像したレントゲンやCTで靭帯骨化の大きさをしらべます。また入院・外来カルテから治療の結果や合併症を調べます。あらたに検査等を行うことはありません。

実施場所：

東京大学医学部附属病院

個人情報・倫理的配慮について：

研究・発表に際し、個人情報の取り扱いには十分に配慮いたします。カルテは専用の閲覧室内で閲覧します。個人が特定される情報は用いません。本研究は倫理委員会の承認のもとで行われています。

連絡先：

文京区本郷 7-3-1 東京大学医学部整形外科

03-3815-5411 (33376)

担当：筑田博隆